

Everyone is different, everyone is wonderful.

(みんなちがって、みんないい)

校長 桑野 啓子

2024年あけましておめでとうございます。すべてのみなさんが、新しい年を穏やかに迎えられたことと思いつつ、すべてのみなさんにとりまして、2024年が佳き年になりますことを心より願いつつ、元日を迎えました。ところが元日の夕方に、能登半島地震が発生して、毎年の穏やかな元日の風景が一転しました。被害にあわれたみなさんに謹んでお見舞いを申し上げます。今回の様々なニュース映像に心を痛めつつ、わたしは、特に阪神・淡路大震災(1995年1月17日)、東日本大震災(2011年3月11日)を鮮明に思い出します。

1995年の1月には、第三中学校で3年生の担任をしていました。ちょうど私立入試前でもありました。急遽兵庫県の私立入試が書類選考に変更されました。阪急電車に乗ると、箕面市や豊中市内でもしばらくの間はブルーシートを目にすることも多々ありました。当時のニュースで、早朝より受験勉強をしていた中学3年生が、たんすの下敷きになったことを読んだ子どもたちは「当たり前は当たり前じゃないんだ」「自分たちにできること、、、赤十字募金をしよう!」と動きました。また4月から新しい3年生の担任をしましたが、鉄道の復旧が望めないと修学旅行先の変更が必要となりました。また2011年3月のその日は、第一中学校で3年生の卒業式を終えた午後でした。多くの方が犠牲になり、これまでの当たり前が当たり前ではなくなる大地震、震災での教訓を忘れないことがとても大切であると改めて思います。

毎年1月17日の箕面市一斉総合防災訓練時には、地区防災委員会さんのリードで各自治会さんも訓練をされます。学園としても防災学習を行い、避難訓練を実施いたします。(可能な保護者さんは模擬ですが、アベニューでの名簿にチェックをしていただく引き渡し訓練にもご協力ください)「備えよ、常に」を合言葉に真剣に訓練をして参ります。

さて、タイトルの「みんなちがって、みんないい」は、大正時代の詩人金子みすゞさんの「わたしと小鳥とすずと」(童謡集)の最後の一文にある言葉です。2023年度第75回全日本中学校英語弁論大会〈高円宮杯〉で1位になった福島県代表の中3生の弁論のタイトルでもあります。自身が差別を受けた経験や、逆に自分が友だちを傷つけたエピソードをもとに、だれもがありのまま受け入れられること、安心して過ごせる毎日の大切さを弁論されました。わたしたちも、互いのもちあじを大切に、一人ひとりが安心して過ごせることを心に刻んで、学園の3学期をスタートいたします。保護者、地域のみなさん、3学期も学園の子どもたちに引き続きのお力添えを賜りますよう、どうぞよろしく申し上げます。